

北里大学病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|-------------------------------------|--|
| 研究課題名 (受付番号/承認番号) | 当院における急性胆嚢炎に対する経皮的、内視鏡的ドレナージの治療成績・安全性に関する後ろ向き研究 (B22-229) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部消化器内科 講師 岩井知久 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・背景・目的 | 急性胆嚢炎の治療として、胆嚢摘出術が最も効果的ですが、近年では高齢化に伴い手術が困難であったり、より侵襲が少ない胆嚢ドレナージが求められることが多くなっています。胆嚢ドレナージ法には、主に、経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)、内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ(ETGBD)、超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ(EUS-GBD)の3つの方法があります。PTGBDは、確実な方法で胆嚢炎の再発リスクも少ないですが、処置後の疼痛やチューブの管理など患者さんの負担が大きいといった問題があります。ETGBDは体内ステントを留置できるため、負担は少ないですが、成功率がやや低いこと、膵炎の偶発症が問題になります。EUS-GBDは、これらの問題点を解決する新しい胆嚢ドレナージ法として行われていますが、比較的難易度の高い手技であり、高次機能病院のみで施行されています。そこで当院における急性胆嚢炎に対するPTGBD、ETGBD、EUS-GBDの治療成績と安全性を検証し、今後より安全で確実な治療法を確立することを目的に本検討を行うこととしました。 |
| 調査データ 該当期間 | 2015年4月1日から2023年2月28日 |
| 対象となる患者さん | 北里大学病院において2015年4月1日から2023年3月31日までの期間に急性胆嚢炎に対しPTGBD・ETGBD・EUS-GBDを施行した患者さん |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 2015年4月1日～2023年2月28日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 |
| 試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 研究の遂行のための費用は消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 |

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 医学部消化器内科・助教(研究員)

担当者: 眞部優作(マナベユウサク)

電話: 042-778-8111(北里大学病院代表)

備考